

# ワークシート 「深める・広める」(35)

年 組 番号( ) 名前

県は17日、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故による影響は今もなお、続いています。だからこそ、僕は将来の福島県には「安心して暮らせる場所」であって欲しいとねがっています。福島県には、豊かな自然があります。そんな豊かな環境と共に生きている地域の人々が支えながら未来を築ける社会になるはずです。福島県ならではの、美しい風景や文化を次の世代にも引き継ぎ、若者が希望や誇りを持って福島県の未来を築いていく。そんな誰もが笑顔で過ごせる復興のシンボルとなるように、過去の痛みを力に変え、輝く福島県の未来を心から願っています。

応募作品のうち、式で紹介される3点を含む15点は東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)で展示される。

## 将来の福島県への願い

菅野明人さん  
岩代中3年

東日本大震災を学んで、僕は福島県に住む人々が経験した、深い傷や苦しみを改めて感じました。多くの人々がそれぞれの家や故郷を失い、原発事故による影響は今もなお、続いています。だからこそ、僕は将来の福島県には「安心して暮らせる場所」であって欲しいとねがっています。福島県には、豊かな自然があります。そんな豊かな環境と共に生きている地域の人々が支えながら未来を築ける社会になるはずです。福島県ならではの、美しい風景や文化を次の世代にも引き継ぎ、若者が希望や誇りを持って福島県の未来を築いていく。そんな誰もが笑顔で過ごせる復興のシンボルとなるように、過去の痛みを力に変え、輝く福島県の未来を心から願っています。

## 将来の自分へのメッセージ

石井琉生さん  
都路中3年

僕が生まれた6ヶ月ぐらいの時に、東日本大震災は起きた。0歳だったから当時の記憶は全くないけど、その時の様子や防災のアドバイスをよく聞かされた。①防災パックは家に置いておいたほうがいいよ。②電気やガスは消してから避難!③まずは自分の命。だけど周りの人との助け合いも大事。これからくる大地震に備えて、この事はちゃんと覚えておこう!それと、大人の僕は、自分の夢を叶えられているのかな?中学生の時の僕は、プロ野球選手を目指して毎日部活を頑張ってるよ!夢を簡単に諦めないで頑張ってね!!最後に、福島県は復興を果たし、安心して暮らせる場所になっているだろうか?僕は、強く願っている。未来の福島に、浜中会津の三地方が笑顔いっぱいに溢れていることを!

## 将来へ伝えたい教訓

森彩菜さん  
鹿島中1年

当時、私は産まれてすらなかった。だから、なにも分からなかった。でも、たくさんの人、物をなくした人がたくさんいる。だから、「わからない」はダメだと思った。今でも、ニュースや本などで大きな地震、津波で大切な人を失った人や家を失った人のことが載っていることがある。そんな方がたくさんいる。大切な人、物を失ってもみんなで支え合い、今でもがんばっている人がいる。震災当時、大切な人が亡くなってしまった人もみんなで励まし合い、協力していたことも聞いたことがある。大変な中で協力し合っている方々の絆がとても伝わってきた。

私は実際に体験していない。でも日本の方には、当時、あったこと、そしてみんなで支えた仲間の「絆」の大切さを未来へ伝えたい。

▲11月18日 福島民友新聞掲載

### 記事から知り得たこと

---



---



---



---



---

### 疑問に思ったこと、調べてみたいこと

---



---



---



---



---

### 調べてわかったこと、考えたこと

---



---



---



---



---

皆さん、どのような「未来」を思い描き、そのためにどうしようと考えていますか?

来年3月11日 震災追悼式で紹介



# 「未来への手紙」に3作品